

大歳交流センターだより



7/8 大歳防災の日イベント



No.101 平成29年8月号

発行 大歳地域交流センター

TEL 922-4035 FAX 922-4036

(行政窓口) TEL 922-2461

人数 13,447 世帯数 6,448

平成29年6月1日現在

第31回おおとし夏まつり開催!



日時：8月5日(土) 18:00～21:00

場所：大歳地域交流センター前駐車場

8月5日(土)は、恒例のおおとし夏まつりです。もちまち、ステージ、総踊り、夏まつり大抽選会など、盛りだくさんのプログラムに加え、焼き鳥、フランクフルト、生ビールなど模擬店も多数出店予定です!今年も皆様のご来場をおまちしております!

※雨天の場合は大歳地域交流センター前駐車場で縮小開催します。(舞台は中止)

※駐車場はありません。自転車や徒歩でまつり会場へお越しください。

自転車でお越しの方は所定の場所へ駐輪してください。

※今年もシャトルバスを運行します。運行時間は運行表をご覧ください。

○その他詳細は「おおとし夏まつりプログラム」をご覧ください。



子ども実行委員長のお知らせ

おおとし夏まつりの新企画となる子ども実行委員長を募集したところ、計7名の応募がありました。実行委員会で抽選をおこない3名の子ども実行委員長が決まりましたのでお知らせします。

当選者

○下田 香里奈(5年生)

○土島 輝(4年生)

○下田 愛奈(3年生)



当選おめでとうございます!おまつりの日は子ども実行委員長のタスキをかけて、もちまきや抽選会のお手伝いをお願いします。惜しくも落選となられた皆さんは申し訳ございませんでした。

問い合わせ：おおとし夏まつり実行委員会
(大歳地域交流センター内)
(TEL 922-4035)

「やまぐち車座トーク21」のお知らせ

やまぐち車座トーク21が大歳地域交流センターで開催されます。地域の皆さまと市長が直接気軽に語り合える場です。どなたでも参加できますので、ぜひ会場にお越しください。

日時：8月10日(木) 19時～

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

内容：市政報告、自由意見の交換

(市政や地域課題などに関する懇談)

問い合わせ：山口市広報広聴課



はつらつクラブ 大人の居場所

～8月はケアビクスで健康増進！～

「こころ」と「からだ」をケアする有酸素運動です。イスに座って行いますので、どこでも簡単に取り組みます。

日時：8月19日（土）

13時30分～15時30分

場所：大歳地域交流センター 2階 講堂

講師：健康運動実践指導者 平野さとみ

持参物：軽い運動のできる服

参加費：100円

問い合わせ：代表 大窪

(TEL 080-2904-8193)

申込は要りません。貴方も貴女も！どなたでも気軽にご参加ください。



子育てサークル太陽クラブからのお知らせ

子育てサークル太陽クラブでは下記の日程でミニキャンプをします。ぜひご参加ください。

日時：8月21日（月）

10時～13時

場所：大歳地域交流センター 1階 講座室

内容：プール、シャボン玉、カレーとカキ氷

対象：未就園児とその保護者（きょうだいも可）

持参物：水着、スプーン（カレー、カキ氷用）

タッパーに炊いたごはん（親子の量で）

※オムツがとれてない子は水遊びパンツ

参加費：100円

※きょうだい参加の場合は200円

申込・問い合わせ：子育てサークル太陽クラブ

代表 山根

(TEL 080-5207-5059)

※8月1日（火）から受付開始。

締め切り：8月11日（金）まで

「お花づくり」お手伝いください！

大歳地区社会福祉協議会では、平成29年度も敬老祝賀会を開催します。つきましては、祝賀会の参列者にお土産でお配りするペーパーフラワーを作るお手伝いをしてくれる人を募集します。簡単に組み立て、友だちづくりにも繋がるとお思いますので、皆さんお気軽にご参加ください。

日時：8月21日（月）

8月28日（月）

9月4日（月）

9月11日（月）

時間：10時～12時

持参物：工作ハサミ

おしぼり

問い合わせ：代表 大窪

(TEL 080-2904-8193)

申込は要りません。どなたでも気軽にご参加ください。



大歳地区子ども会育成連絡協議会からのお知らせ

大歳地区子ども会では、初めての試みとして、自治会内に子ども会がない子ども達にも子ども会活動の楽しさを味わっていただけるように企画をしています。活動に参加して異年齢交流を楽しみませんか？

活動：今年度1年間（全ての行事に参加できます）
登録費：1,500円

（安全会費、育成会費、おやつ代含む）

◎ふれあいキャンプ（バーベキュー、花火など）

日時：8月26日（土）～27日（日）

26日（土）13時～27日（日）午前中まで

場所：朝田神社

対象：小学生

定員：10名（申し込み順）

※8月1日（火）から受付開始。

参加費：当日、登録費1年間分をお納めください。

申し込み：8月15日（火）までに名前、学年、

住所、保護者の連絡先を明記の上、大歳地区子ども会育成連絡協議 田中

tsubaki.tanaka2em@gmail.com

までご連絡ください。折り返し日程表をお知らせします。



シルバー人材センター入会案内会のお知らせ

あなたが今まで培って来られた技能を活かしませんか？入会案内会を開催しますので、お気軽にご参加ください。事前申込は不要です。

日時：8月8日（火）

9月12日（火）

13時30分～（2時間程度）

場所：山口ふるさと伝承センター

山口市下堅小路12番地

対象：山口市在住の60歳以上で働く意欲のある方

問い合わせ：山口市シルバー人材センター
山口しあわせプラザ2階
(TEL 924-5396)

放送大学山口学習センターからのお知らせ

放送大学は、ラジオ、テレビ、インターネットで学ぶことができる通信制大学です。多彩な放送授業300科目があり、好きな科目を1科目から受講できます。皆様の生涯学習として、またご自身のキャリアアップ、資格取得を応援します。

■平成29年10月入学出願受付期間

第1回 6月15日（木）～8月31日（木）

第2回 9月1日（金）～9月20日（水）

■入学相談時間

月曜日、祝日を除く10:00～17:00

問い合わせ：放送大学山口学習センター
(TEL 928-2501)

山口市消防団操法大会の結果報告

7月2日（日）に開催された消防団操法大会に大歳分団も参加しました。奮闘したものの10位と上位入賞には一步及びませんでした。来年は入賞めざして頑張ります。

【出場選手】

指揮者	川上 鉄雄	2番員	原田 光一郎
1番員	岸田 忠朗	3番員	豊嶋 正典
補助員	門田 誠治		



子育てマナビィ 受講生募集!

第3回 親子で楽しむ体づくり

日時：8月19日（土） 10時～12時

場所：山口市小郡体育館

小郡下郷308-1

託児：あり ※無料（要申込）

持参物：動きやすい服装、体育館シューズ
タオル、飲み物

対象：小学生とその保護者

定員：先着15組

講師：吉野 信朗（山口芸術短期大学）

申込：山口市社会教育課

(TEL 934-2865)

参加無料



【大歳地区8月の行事予定】

3日（木）燃やせないごみの日
5日（土）第31回おとし夏まつり
9日（水）母子相談（10:00～11:00）
10日（木）車座トーク21（19:00～）
11日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
14日（月）金属・小型家電製品の日
16日（水）びん・缶の日
18日（金）パソコン相談（10:00～12:00）
19日（土）大人の居場所（13:30～15:30）



21日（月）お花づくり（10:00～12:00）
21日（月）太陽クラブミニキャンプ（10:00～13:00）
25日（金）ぶっくん来館日（15:20～16:00）
25日（金）子育てサークル太陽クラブ（10:00～13:00）
26日（土）子ども会ふれあいキャンプ（13:00～27日）
28日（月）お花づくり（10:00～12:00）
30日（水）古紙ペットボトル分別収集（大歳①）
31日（木）古紙ペットボトル分別収集（大歳②）

※木曜日はプラ容器包装分別収集



幕末期、大歳地区の牛馬数の変化 2

馬を必要とする理由として、人の輸送があり、さらに「馬力」はあっても「牛力」という言い方がないように、その運搬能力の高さがあると思います。全身を筋肉で覆われている馬は、その速さと力強さで牛を圧倒します。これらの能力を必要とする何らかの事情が、小郡・山口・防府の三ヶ所で、天保期前後に起こったということになります。まずこの三ヶ所に共通するのは、大きな街道に即した宿駅があることです。従って、石州街道、山陽道には多くの馬を常備する必要がありました。でもこれはこの時期に限ったことではありません。他には、大きな川があるということです。山口・小郡には榎野川があり、防府には佐波川があります。大河に共通するのは、氾濫や洪水です。榎野川では、文政4年(1821)、天保7・8年の洪水に続き、天保11年(1840)、嘉永3年(1850)、安政4年(1857)、明治7年(1874)と1800年代は氾濫の連続でした。特に天保11年6月の氾濫は、「稀有の暴風雨で四十八瀬川筋はもちろん、榎野川本流も数か所決壊し、黒川市より小郡沖まで一面湖水となり3日間水中に浸った」、とあります。このため翌年に修復改修工事が開始され、嘉永元年(1848)に大川筋改修工事が完成しますが、中途半端なものでした。この改修工事のために、大量の土砂や荷物を運ぶ必要がありました。ここで馬が大いに活躍することになるのです。そのことを前提に、川と馬との関連を細かく見ると、山口地域でも川沿いにある平井、平野、小鯖は、馬の数が多いのに対して、桜畠、宮野、吉木(吉敷)などは少なく、はるかに牛の数が多のです。そこには、川の氾濫に応じた馬の数の増減が見てとれるのです。ただ例外地域として小郡があります。この地域は、江戸時代の初めごろは、かなりの牛も使役されていたのですが、ほぼ江戸期を通じて牛の3倍ほどの馬が使役されるのです。この地域だけは改修工事が天保期に限ったことではなかったのです。上流から流れ出す土砂が川底を浅くし、頻繁に水没を繰り返し、川と海からの災害の修復や、新田開発の灌漑、山陽道の駅馬と、農耕以外の多くの運搬作業を必要としていたのです。防府もまた同様の傾向を示しています。

天保期に何故馬が増えたのか。農耕だけに限れば、牛の方が扱いやすく、エサ代も安い。ただ農耕以上に必要性が、この時代にはあったのです。それは氾濫する川との格闘です。天保期前後は、立て続けて引き起こされた洪水の時代でもありました。長州藩も見かねて天保5年に費用を負担して土手普請などを行いましたが、予算不足で根本的な対策にはなりませんでした。その後榎野川改修は、林勇蔵らの主導で、明治29年に至るまで続けられるのです。その走りがこの天保期だったのです。というのも小郡地区は、元文3年(1738)の記録ではまだ牛が多いのに、天保13年(1842)には馬が牛の3倍となり、嘉永4年(1851)には6倍以上になり、明治9年(1876)には20倍以上になるの

です。この馬の数の推移は、榎野川の改修に、どうしても馬が必要だったことを裏付けます。大歳地区は小郡ほど馬を必要としませんでした。榎野川改修のために馬もまたかなりの割合で保持されたのです。

(大歳史談会、

文責：黒田五郎)



牛による物資の輸送



馬による物資の輸送